

総務教育常任委員会資料

- 調査事件 1 所管関係施設・事業等の町内視察及び執行方針
の取り組み状況について

= 資料目次 =

1. 所管関係施設・事業等の町内視察	1
2. 執行方針の取り組み状況	10
3. 工事等一覧表	18

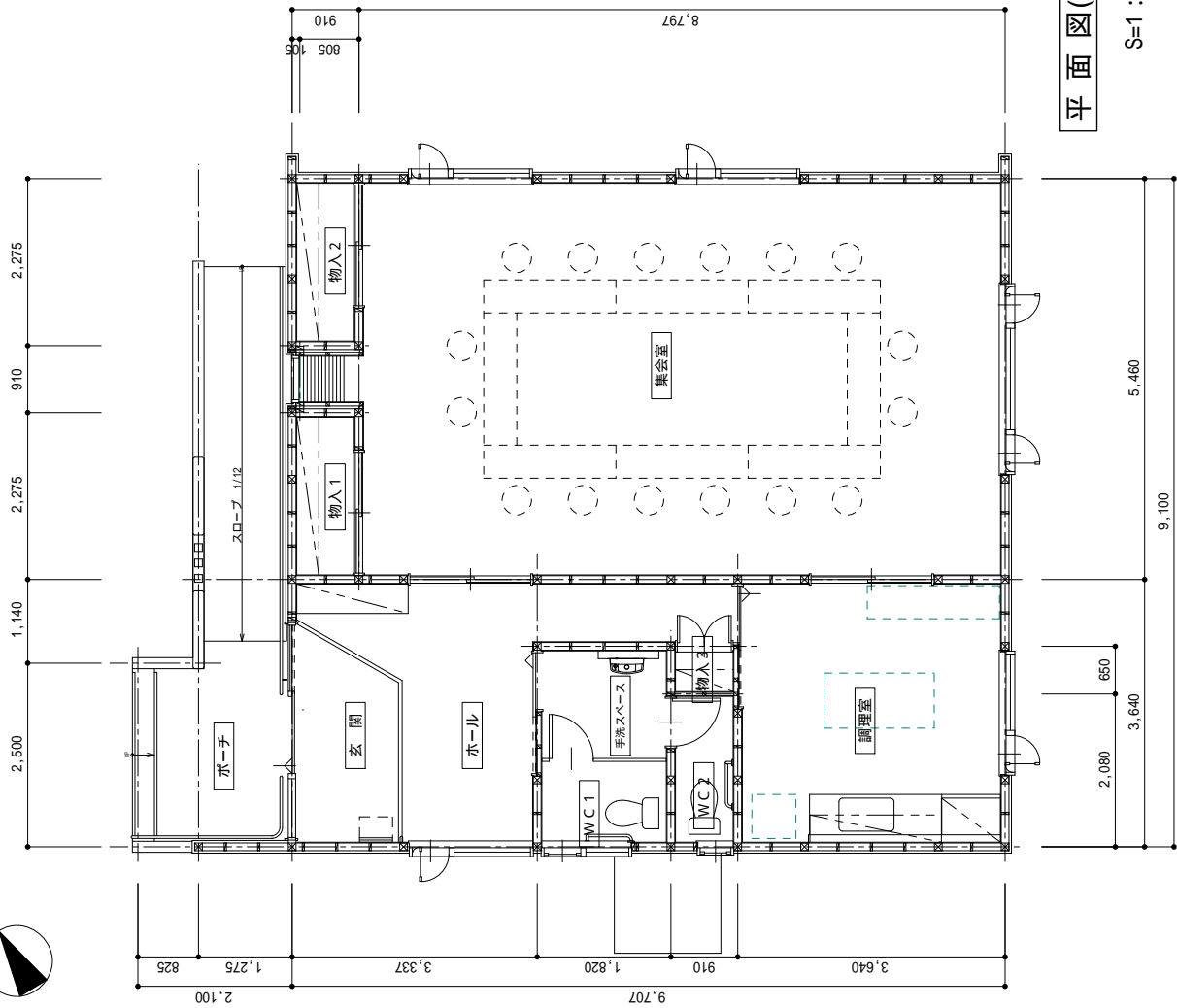
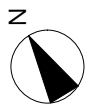
1. 所管関係施設・事業等の町内視察

【 10月29日（月） 】

視察予定 時 間	地区	調 査 項 目 （ 事 業 ）	担 当 課	資料 ページ
10 : 00		開会		
10 : 05		役場前出発		
10 : 15	宮歌	町内会館（宮歌・豊浜）整備事業	総務課	2
10 : 30	白符	福島町チロップ館	教育委員会事務局 （生涯学習）	4
11 : 00	岩部	岩部地区交流センター整備事業	企画課	6
11 : 25	檜倉	福島町ファミリースポーツ公園 パークゴルフ場	教育委員会事務局 （生涯学習）	8

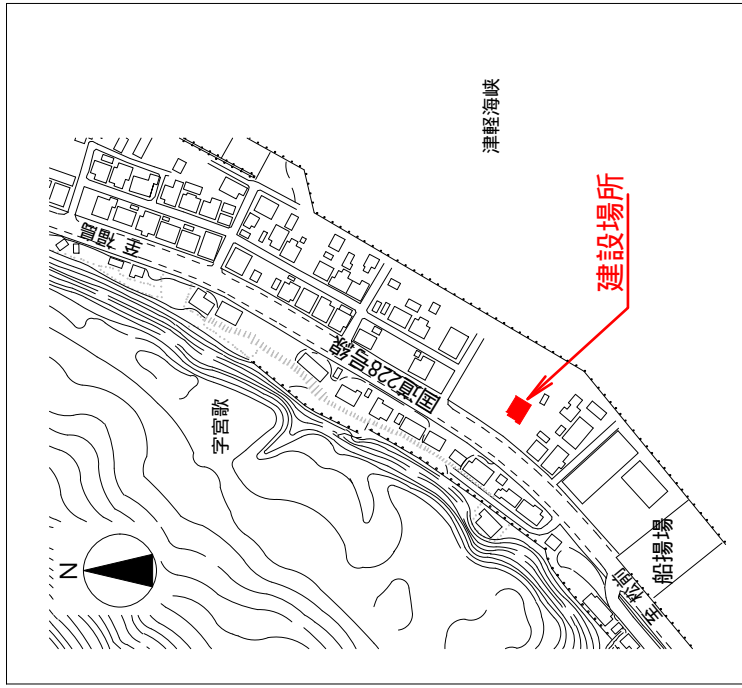
予定時間	調査項目（事業）	場 所
13 : 00	検 討 会	議 場

宮歌・豊浜町内会館整備事業



平面図(案)

S=1:100

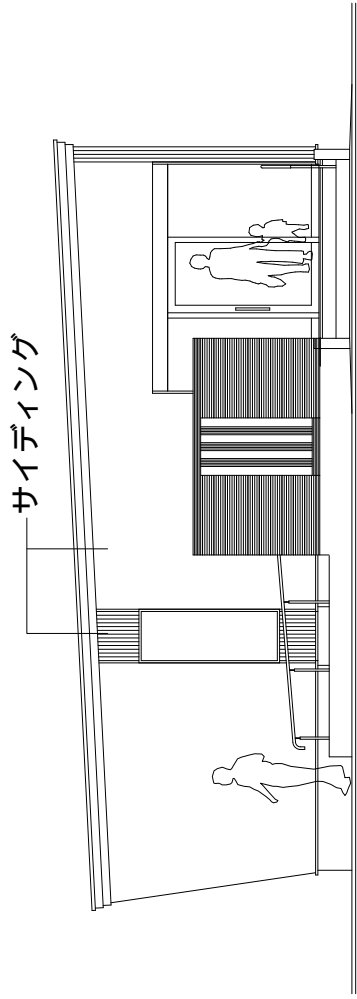


附近見取り図

S=Free

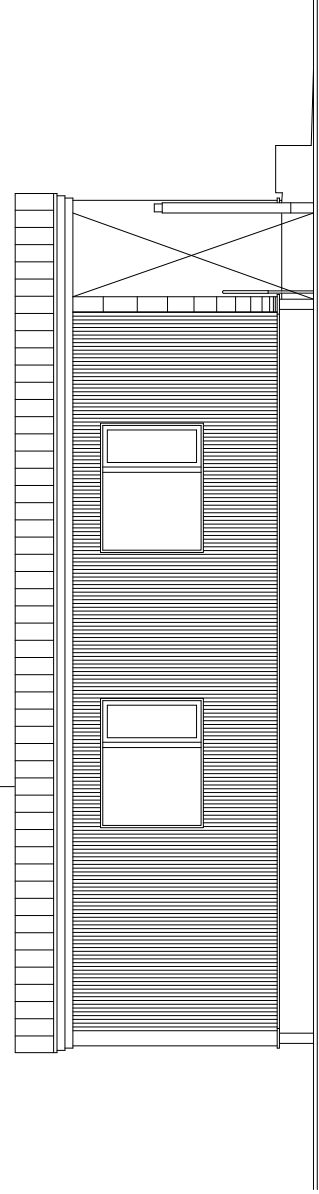
面積表	
延床面積	88.33㎡
建築面積	92.52㎡

宮歌・豊浜町内会館整備事業 S = Free



北西立面図

ガルバリウム鋼板 フラットルーフ工法



北東立面図

○福島町チロップ館について

① 施設概要

- ・施設名称 福島町チロップ館
- ・開館時間 平日：午前10時～午後3時
休日・祝日：午前10時～午後4時
- ・休館日 火曜日・金曜日、12月1日～翌年2月20日

② 施設の沿革

- ・旧白符小学校については、平成21年6月29日付で教育委員会とチロップの会（代表 熊谷正春氏）との間で「旧白符小学校の管理委任に関する覚書」を締結し利活用しておりましたが、平成29年度に熊谷氏からこれまで収集した古民具等の一括寄贈を受け、平成30年2月24日より社会教育施設「福島町チロップ館」としてリニューアルオープンしました。
- ・現在は、産業・生活・娯楽・館崎遺跡等の分野に分け、各部屋毎での展示をしています。

③ 管理について

- (1) 施設管理委託（チロップの会）
施設の清掃、受付、営繕管理を委託
- (2) 消防用設備等総合点検保守委託（有奈良石油）
- (3) 電気保安業務委託（北海道電気保安協会）

④ 利用者数について（平成30年度は9月末現在）

- ・平成29年度開館日数 H30.2.24～H30.3.31（26日）
- ・平成30年度開館日数(予定) H30.4.1～H31.3.31（213日）

[単位：人]

年度	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	団体	計	開館日数	1日当平均
H29	24	18	5	0	215	56	318	26日	12.2人
H30	14	14	6	4	293	96	427	143日	3.0人

※利用者数について、当該施設を社会教育施設として運営する以前の人数は計上しておりません。

⑤ 利用団体・事業等について

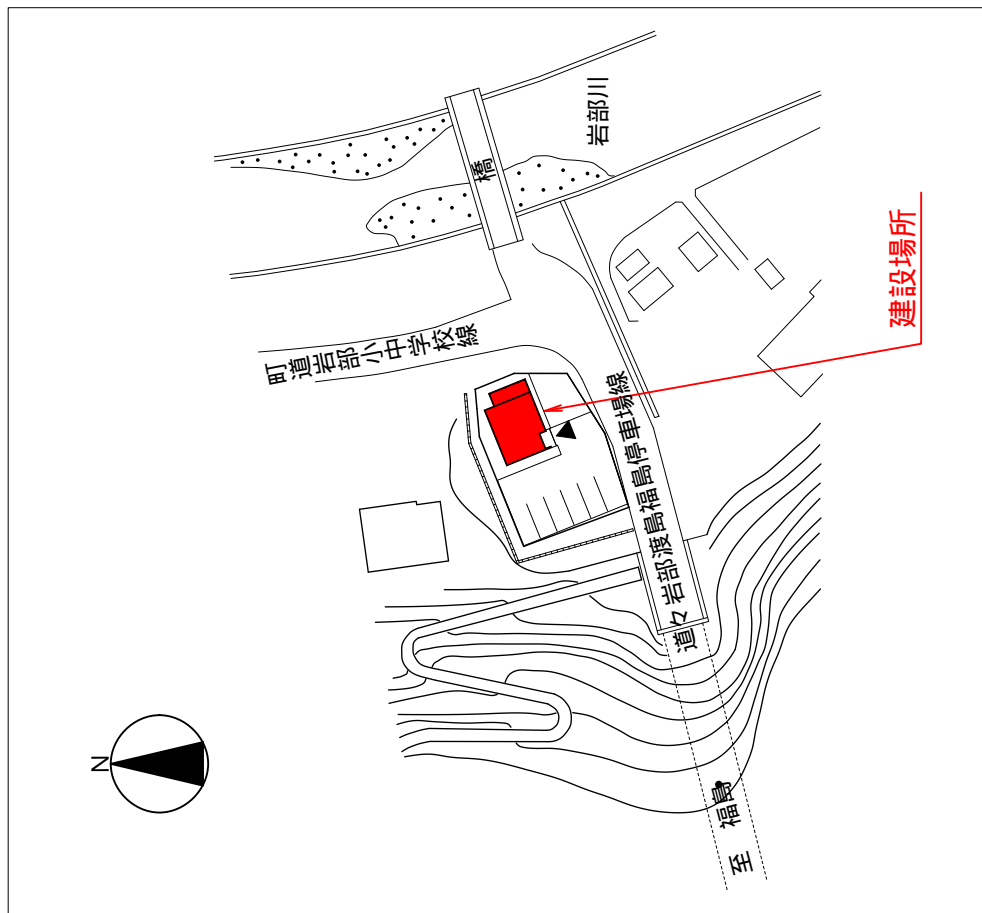
ア. 利用団体等について

利用日	見学者	見学内容	人数
H30. 3. 3 (土)	読売旅行 (おひなさまミステリーツアー)	ひな祭り	52人
H30. 4. 30 (月)	函館市花園町在宅福祉委員会 (見学会)	ひな祭り	17人
H30. 8. 7 (火)	木曾町生徒交流事業 (町内施設見学)	館内全体	18人
H30. 8. 22 (水)	通学合宿 (町内施設見学)	館内全体	21人
H30. 9. 16 (日)	大野文化財保護研究会 (秋の見学会)	伊能関連	25人
H30. 9. 22 (土)	木古内無名塾	館内全体	9人
H30. 10. 4 (木)	函館市町会連合会中央区女性部 (部長研修会)	伊能関連	20人
H30. 10. 17 (水)	渡島ブロック商工会女性部部員研修会	伊能関連	100人

イ. 利用事業等について

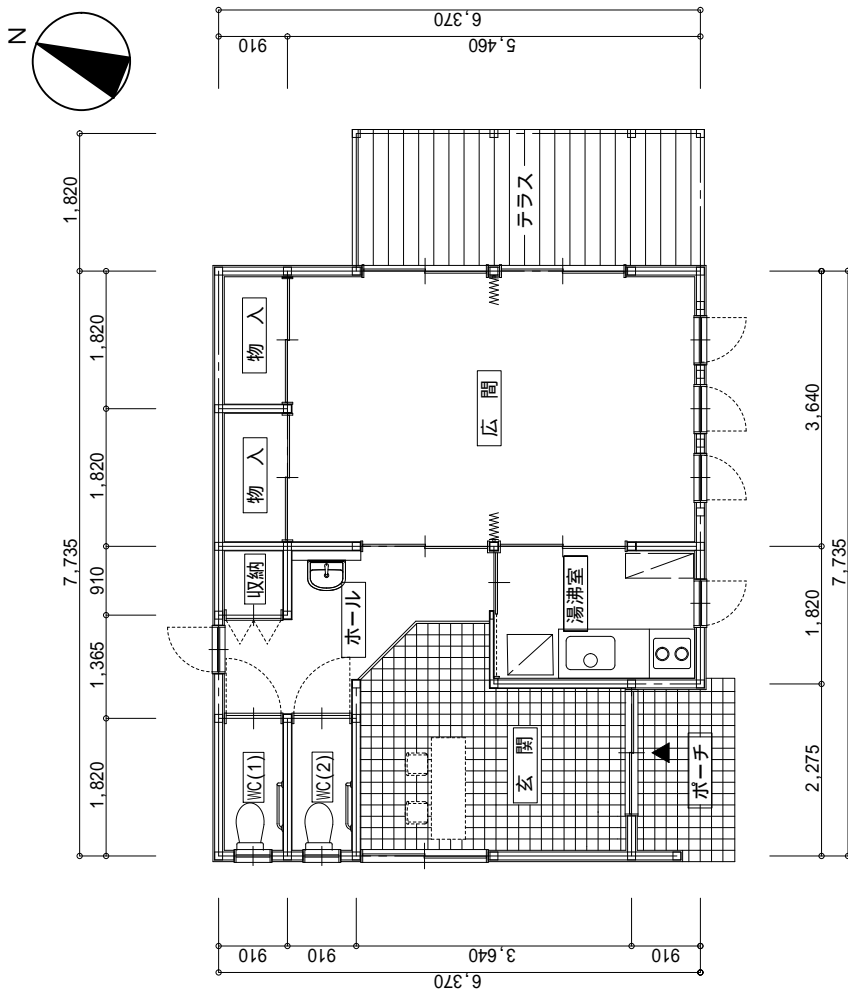
開催日	イベント名	参加者
H30. 7. 19 (木)	夏のレコード鑑賞会	13人
H30. 6. 9 (土) ~ 10. 28 (日)	伊能忠敬写真パネル展示	—
H30. 8. 1 (木) ~ 9. 30 (日)	チロップ館クイズラリー	約60人

岩部地区交流センター整備事業



附近見取り図

S=Free

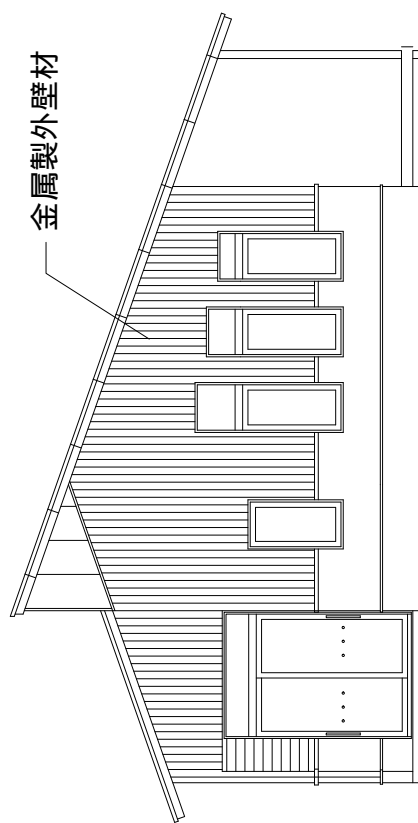


平面図(案)

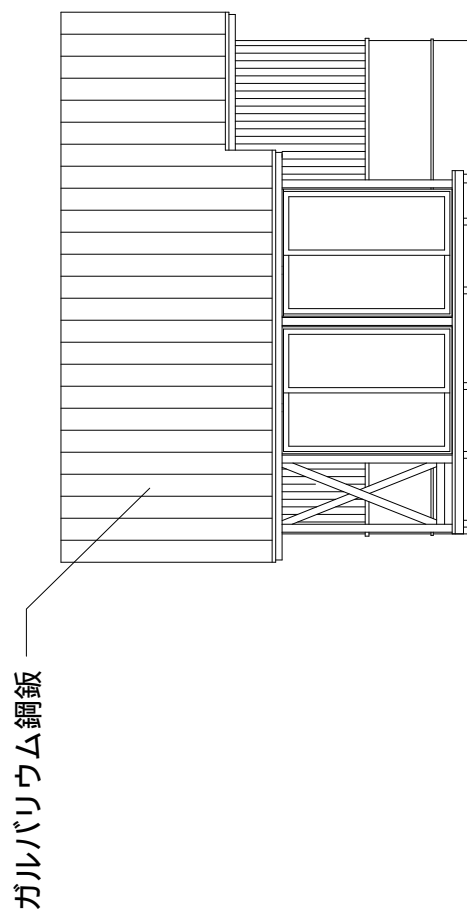
S=1:100

面積表	
延床面積	47.20㎡
建築面積	56.85㎡

岩部地区交流センター整備事業



南側立面図



東側立面図

○福島町ファミリースポーツ公園パークゴルフ場

① 施設概要について

- ・平成12年4月1日より開設
- ・施設利用料

区分		町内在住者	町内在住者以外の者
一日券		100	200
シーズン券	購入月	5月	4,000
		6月	3,600
		7月	3,200
		8月	2,800
回数券		1,000	2,000
用具(クラブ・ボール1組)		0	100

ア. 町内中学生以下は無料

イ. 1日券は発行した日、シーズン券は当該年度コース閉鎖日まで

ウ. 回数券は1組12枚

※平成29年6月1日より利用料金の引き下げ改訂を行った

② 管理について

- (1) 施設管理委託 (太平ビルサービス(株)函館営業所)
利用者の受付、芝の刈り払い、場内清掃等の施設全体の委託管理
- (2) 消防用設備等総合点検保守委託 (有奈良石油)
- (3) 植生及び樹木管理委託 (株)広正園
芝エアレーション業務及び殺虫剤散布業務を隔年で委託

③ 利用者数について

単位：人

年度	利用者数	備考
平成25年度	7,016	
平成26年度	6,634	
平成27年度	6,151	
平成28年度	5,293	
平成29年度	5,187	
平成30年度	3,634	※9月末現在

④ 大会利用について

ア. 教育委員会主催事業

- ・教育長杯争奪パークゴルフ大会（5月開催）
- ・いきいき町内会対抗パークゴルフ大会（6月開催）
- ・千代の富士杯争奪パークゴルフ大会（8月開催）
- ・町長杯争奪パークゴルフ大会（10月開催）

イ. パークゴルフ協会主催事業

- ・月例大会（毎月開催）
- ・初心者講習会（5月・8月開催）
- ・パークゴルフ協会オープンパークゴルフ大会（4月開催）
- ・ペアマッチ大会（5月・7月開催）
- ・体育協会会長杯ペアマッチ大会（10月開催）
- ・協会杯パークゴルフ大会（10月開催）
- ・ラストコールパークゴルフ大会（11月開催）

ウ. その他団体主催事業

- ・松前地区交通安全管理者パークゴルフ大会（6月開催）
- ・村田商店杯パークゴルフ大会（7月開催）
- ・防火パークゴルフ大会（9月開催）
- ・道南うみ街信金主催パークゴルフ大会（9月開催）

2. 執行方針の取り組み状況

【 10月30日（火） 】

施策の内容	確認内容等	担当課
次世代を担うリーダー等の養成	(1) 福島町人財育成基金について	企画課
	(2) 産学官との連携強化について	企画課
若者の定住対策・子育て環境の充実	(1) 若者等の定住対策及び子育て環境充実への取り組みについて	企画課
高齢者等の安心安全な生活環境の充実	(1) 防災計画の見直しについて	総務課
	(2) 公共施設の維持管理等について	総務課
学び合い、たくましい人を育てる	(1) 生涯学習事業の充実について	教育委員会事務局
	(2) 幼児教育の充実について	教育委員会事務局
	(3) 「学校選択制」導入への取り組みについて	教育委員会事務局
	(4) 教育のICT化への取り組みについて	教育委員会事務局
	(5) 特別支援教育充実への取り組みについて	教育委員会事務局
	(6) 学校における働き方改革の取り組みについて	教育委員会事務局
	(7) 高等学校存続対策について	教育委員会事務局
	(8) 文化財の保存・展示について	教育委員会事務局
	(9) 歴史図書発刊に向けた取り組みについて	教育委員会事務局

1. 次世代を担うリーダー等の養成

(1) 福島町人財育成基金について【企画課】

当基金については、過疎対策事業債(ソフト分)を活用しながら運用しており、平成29年度の状況では、当初38,400千円の基金額に対し、20,048千円を積み立てし、福島商業高等学校存続対策や教育関係団体・大会参加助成等に15,400千円を支消しており、年度末残高は43,048千円となっております。

「福島町人財育成支援事業補助金交付要綱」による平成30年9月末現在の補助実績は、町長部局が資格等取得事業10人572,700円、研修会及び講習会等参加事業7人242,100円、研修会等開催事業1団体47,800円の計862,600円となっております。

同じく、教育委員会部局の補助実績は、資格取得事業のうち、珠算検定11人17,800円、英語検定9人22,700円、研修会及び講習会等参加事業3団体92,800円、研修会等開催事業1団体62,400円の計195,700円となっており、合わせて1,058,300円となっております。

人財育成基金については、引き続き、福島商業高等学校存続対策や教育関係団体・大会参加等を支援するとともに、人財育成支援事業補助金制度の周知に努め人財育成を図ってまいります。

(2) 産学官との連携強化について【企画課】

産学官との連携強化の一環として、国の地方創生関連交付金を活用して実施している陸上アワビ養殖試験事業において、今年度は、北海道大学水産科学研究院に飼育環境等に関する「アワビ摂餌行動及び体長別適正生存水位に係る調査研究業務」を委託し、昨年度に引き続き調査業務を継続実施しております。

公立はこだて未来大学とも、昨年度委託した「福島町における陸上養殖支援システム」の検討を継続して委託し、個体測定作業の労務の効率化に向けた研究を進めております。また、東京農業大学オホーツクキャンパスとは、販路拡大に向けたマーケティング調査を今後委託する予定となっております。

陸上アワビ養殖試験事業については、今後も各大学の専門的分野の研究成果を提供いただくとともに、本格的な事業化に向けて連携を深めてまいります。

また、東京農業大学オホーツクキャンパスとは、町内各学校での出前講座を引き続き実施している状況にあります。

次年度以降も、それぞれの連携した項目を中心に、各大学と協議のうえ進めてまいります。

2. 若者等の定住対策・子育て環境の充実

(1) 若者等の定住対策及び子育て環境充実への取り組みについて【企画課】

当町における、若者等の定住対策及び子育て環境充実への取組については、保育料や給食費の無料化、出産祝金、高校生までの医療費の無料化及び定住促進住宅等奨励事業を継続的に実施し、経済的な負担軽減を図るなどして当町での暮らしを応援しているところであります。

平成 30 年 9 月末現在の交付実績は、出産祝金が、第 1 子 3 人 150,000 円、第 2 子 1 人 200,000 円、第 3 子 4 人 1,100,000 円（2 年目 3 人 900,000 円、3 年目 1 人 200,000 円）の計 1,450,000 円。定住促進住宅等奨励金が、町外事業者新築 1 人 500,000 円、町内事業者新築 1 人 1,000,000 円の計 1,500,000 円となっております。

子育て世代の若者等の定住促進住宅の整備については、今年度は用地測量及び地質調査業務を実施しており、次年度以降も計画的に事業を進めてまいりたいと考えております。

当町に定住する子育て世帯の暮らしを応援するため、今後も引き続きこれらの支援に取り組んでまいります。

3. 高齢者等の安心安全な生活環境の充実

(1) 防災計画の見直しについて【総務課】

近年は、気象状況の変化等により、全国各地で災害が発生し甚大な被害を及ぼしている状況にあります。

当町においても、昨年 9 月台風 18 号の大雨により、福島川氾濫の危険が高まったことから大型土嚢の設置及び避難指示の発令、また、今年 7 月には大雨により松浦地区で浸水が発生し、さらに 9 月には、北海道胆振東部地震による 2 日間に渡る停電が発生するなど、今までの経験値では推し量れないような事象が続いております。

このような状況の中、町においては、昭和 56 年に防災計画を策定し、災害予防、応急対策及び災害復旧計画を定めており、その後平成 3 年、12 年及び 27 年に状況に応じて、逐次計画の見直しを行ってきております。

なお、近年の大規模災害の発生状況を踏まえた防災計画の見直しに加え、国から道を通じて情報が未だ示されていない、太平洋側「設計津波水位」の見直しとともに、土砂災害警戒区域の指定などと合わせて総合的に勘案し、平成 31 年度に防災計画の見直しを予定しております。

(2) 公共施設の維持管理等について【総務課】

公共施設の維持管理については、平成 29 年 12 月に策定した「福島町公共施設等総合管理計画」を基本に、個別の長寿命化計画との整合性を図り事業を実施しております。

なお、町内会館の再編については、本年度より事業を開始し、吉野母と子の家（解体中）、宮歌生活館（10 月解体入札）、豊浜母との家（7 月終了済）、の 3 施設を解体し、新たに宮歌・豊浜町内会館を整備中で 1 月末の完成予定となっております。また、岩部生活改善センター（7 月解体済）を解体し、岩部地区交流センターを建設中で 1 月末の完成予定となっており、次年度以降も順次計画に基づき再編を進めてまいります。

なお、再編計画と併せ町内会館の管理方針については、見直しを検討しております。

4. 学び合い、たくましい人を育てる

(1) 生涯学習事業の充実について【教育委員会】

昨年 4 月 1 日より北海道から社会教育主事の派遣を受け、既存の生涯学習事業の再構築及び渡島西部四町での広域的な事業展開を進めていたところですが、社会教育主事の体調不良により休職発令とし、本年 7 月 31 日付けを以って派遣終了といたしました。

ただし、北海道から派遣を受ける期間は翌年度までとなっているため、来年度 1 年間だけとはなりますが引き続き、派遣の要請をしております。

文化団体・体育団体との連携、指導者の育成と活用を図ることを目的とした、「生涯学習指導者名簿」の登録等の整理作業を取り進めております。

また、ふくしま町女性の会の設立 10 周年事業については、会員を含め 69 名の参加をいただき 5 月 20 日に開催したところです。

(2) 幼児教育の充実について【教育委員会】

芸術鑑賞を通して、幼児の情操教育を高めることを目的とし、7 月 4 日に福祉センターを会場として、福島幼稚園・認定こども園福島保育所及び未就学児童を対象に札幌の劇団による「どさんこぴーひゃらあそび組」を上演しております。一緒に体験することを通し、子どもたちの感受性豊かな表現力を高める一助となったものと考えております。

また、幼稚園・認定こども園と小学校との円滑な接続ができるように、平成 31 年 1 月に福島小学校において 1 日体験入学を実施する予定としております。

なお、平成 31 年度の入学予定者は 10 月 1 日現在で 18 名であり、福島小学校 17 名、吉岡小学校 1 名であります。全員が福島小学校入学を希望している状況にあります。

(3) 「学校選択制」導入への取り組みについて【教育委員会】

平成 31 年度から実施となる町立小学校の「学校選択制」については、各小学校と協議のうえ本年 6 月の教育委員会議にて各小学校の受入可能人数を決定し、8 月 24 日付にて新入学児童の保護者 18 名と在校児童の保護者 74 名を対象に、希望申請書を送付しております。その際、両小学校の特色を比較できるよう、各小学校の学校案内パンフレットを同封しております。提出期限の 10 月 5 日には全ての保護者から希望申請書の提出があり、事務局にて集約をしております。集約段階では、吉岡小学校の在校生 2 名と吉岡地区の新 1 年生 1 名が福島小学校への通学を希望しております。また、福島小学校から吉岡小学校への入学希望はゼロとなっております。

今後については、明日 10 月 31 日に開催されます教育委員会議にて希望の可否を決定し、各保護者へ申請の許可及び不許可の通知を予定しております。

なお、希望通り申請が許可されると、平成 31 年度の児童数は吉岡小学校 11 名、福島小学校 81 名になる見込みです。

(4) 教育の I C T 化への取り組みについて【教育委員会】

教育の I C T 化に伴う全児童・生徒へのタブレット端末の配置については、7 月 31 日に各学校へタブレット・大型モニタ・教室用ノート P C 等の配置を完了したところであります。

タブレット端末の配置数については、昨年度整備分を合わせると、福島小 99 台、吉岡小 30 台、福島中 92 台の、合計 221 台となっており、児童・生徒のみではなく、各教員へも 1 台ずつの配置となっております。

なお、授業等における I C T 機器利活用の推進については、昨年度に引き続き I C T 活用教室クレバーキッズへ授業支援業務を委託しておりますので、専門家からの意見を参考とし、学校と教育委員会にて協議しながら進めてまいります。

(5) 特別支援教育充実の取り組みについて【教育委員会】

子どもたち一人ひとりの指導や支援の充実を図るため、渡島教育局や七飯養護学校の協力を得ながら、各学校において巡回相談を実施しております。また、昨年度より教育支援委員会（注 1）において、教員等の研鑽を図るために研修会を

開催しております。今年度についても子どもたちのとりまく環境を見据えながら、最近増えてきている発達障害について、函館療育センターの医師を講師に招き、教職員だけではなく保護者向けにも平成 31 年 1 月に研修会を開催する予定であります。

注 1 心身に障がいがある児童・生徒の就学の適正化を図るため、福島町教育委員会の諮問機関として設置している。

(6) 学校における働き方改革の取り組みについて【教育委員会】

教育委員会では平成 30 年 3 月 27 日に「学校における働き方改革アクション・プラン」を策定し、学校現場における教職員の時間外勤務等の縮減に取り組んでおります。

具体的な取り組み項目は、①「チーム学校」の実現に向けた専門スタッフ等の配置促進。② I C T の活用や公務支援システムの活用促進。③地域との協働の推進による学校を応援・支援する体制づくり。④学校給食及びその他の学校徴収金の徴収・管理業務の負担軽減。⑤部活活動休業日等の完全実施。⑥外部指導者の活用。⑦複数顧問の効果的な活用。⑧ワークライフバランスを意識した働き方改革の推進。⑨長期休業期間中における「学校閉庁日」の設定。⑩勤務時間を客観的に把握する仕組みの構築。⑪管理職のマネジメント研修等の実施。⑫事務機能の強化・業務の効率化。⑬調査業務の見直し。⑭保護者や地域住民等の理解を得るための取り組みの促進。⑮その他の取り組みとなっています。各事項について、教育委員会事務局と学校現場で協議を行い、それぞれの役割分担を整理した中で教育委員会会議にて情報共有して進めているところであります。

また、教職員の勤務時間を把握するため、事務局にて簡易的なタイムカードを作成し、2 学期より各学校にて運用しており、今後そのデータをとりまとめ、時間外勤務の実態を正確に捕捉していきます。

今後の予定につきましては、アクション・プランの中で予算化が必要な事項について整理し、町長と総合教育会議において協議していく予定をしております。

(7) 高等学校存続対策について【教育委員会】

福島商業高校の存続対策については、以前から積極的に実施しておりますが、今年度の新入学生徒数は 14 名となっております。

来年度の新入学生徒の増に向け、今年度についても高校案内パンフレットを作成し、北海道新聞への折り込み、渡島・檜山・札幌市内の各中学校へパンフレットを送付し、高校の P R を行っております。

さらに、今年度は商業高校の杉本校長が、9 月上旬から 2 週間程度の日程で、函館近郊の 1 学年 2 クラス以上の中学校を訪問し、直接当該高校の P R も行って

おります。

また、商業高校においては、基礎学力の向上から進学へ向けての取組として、(株)ベネッセが提供している「スタディ・サポート」の取組もスタートしております。教育委員会としましても、高校存続対策に特化した「給付型奨学金」の検討も進めており、高校存続検討委員会の意見を踏まえながら、総合教育会議において町長と協議していく予定をしております。

なお、先般の定例会 9 月会議にて一般質問のあった「海外研修」につきましても、現在高校と調整中でありますので、進捗状況について随時報告してまいります。

(8) 文化財の保存・展示について【教育委員会】

チロップ館については本年 2 月 24 日にリニューアルオープンをし、4 月よりチロップの会（代表 熊谷正春氏）に管理委託をしています。これまでのチロップ館での取組みとして、館崎遺跡より発掘をした縄文土器の展示をはじめ、伊能忠敬資料の展示やレコード鑑賞会等を行いました。

これまでも、歴史学習を目的として来た団体の入館受入も多数あったので、引き続き展示内容を充実させ、教養・調査・研究及びレクリエーションに役立ててまいります。

本年 3 月に国の重要無形民俗文化財に指定された「松前神楽」については、松前神楽連合保存会が中心となり広域的な伝承・公開の活動に取り組んでおります。

福島町松前神楽保存会とは、今般の国指定を受け、今後の「松前神楽」の普及活動として、各学校との連携事業・普及に係る紹介、展示・ホームページ作成・講演会、学習会の開催・体験活動等の後継者育成促進を図ることで協議しています。

(9) 歴史図書発刊に向けた取り組みについて【教育委員会】

歴史図書の発刊においては今年度 6 月に編集委員会を立ち上げ 8 分野（①松前神楽と常磐井家、②日本地図の第 1 歩 吉岡～伊能忠敬、③北海道の漁業の始祖花田傳七と中塚金十郎から現代の昆布養殖まで、④千軒と蝦夷地のキリシタン、⑤北海道の横綱第 1 号千代の山、⑥小さな大横綱（ウルフ）千代の富士、⑦世界の海に挑んだ冒険家中島正一、⑧殿様街道～その歴史とロマン）において具体的な執筆作業等を取り進め、10 月現在において 3 回の編集委員会を開催し、各執筆項目のタイトルや内容の方向性についての具体的な検討を行い、平成 32 年度の発刊に向けて準備を進めております。

また、刊行にあたる挿絵イラストの制作業務委託、原稿の添削等に係る編集作業の業務委託も行い、作業を取り進めております。

併せて、歴史図書発刊に係る事業費については、福島町ふるさと応援基金を活用することとしてまちづくり推進会議の中でも了承をいただいているところがあります。

3. 工事等一覧表

【総務課】

単位：千円

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	工期 着工/完成	備考
1	豊浜母と子の家解体 工事	木造平屋建 A=214.45㎡	3,699	㈱金澤建設	H30. 5.10 H30. 7.27	完了
2	吉野母と子の家解体 工事	木造2階建 A=298.08㎡	5,087	㈱創拓建設	H30. 7.30 H30.10.31	
3	町内会館（宮歌・豊 浜）整備工事	木造平屋建 A=88.33㎡	23,166	㈱小鹿建設	H30. 8.22 H31. 1.31	

【企画課】

単位：千円

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	工期 着工/完成	備考
1	岩部生活改善セン ター解体工事	岩部生活改善センター 解体 A=174.96㎡	3,991	㈱北村建設	H30. 4.26 H30. 8.10	完了 ※発生材の 数量確定に 伴う設計変 更有
2	岩部地区交流セン ター整備工事	岩部地区交流センター 整備 木造平屋建 延床面積 47.20㎡ 建築面積 56.85㎡ 外構工事含む	17,086	土門建設	H30. 8.22 H31. 1.31	

【教育委員会】

単位：千円

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	工期 着工/完成	備考
1	チロップ館施設管理 業務委託	来館者の受付業務等を含 めた施設の維持管理 業務	1,298	チロップの会	①H30. 4. 1 H30.11.30 ②H31. 2.21 H31. 3.31	
2	福島町ファミリース ポーツ公園パークゴ ルフ場管理委託業務	来場者の受付業務等を含 めた施設の維持管理 業務	4,158	太平ビルサービ ス(㈱函館営業所)	H30. 4.10 H31.11.30	